



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 ヨシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 菊本 善夫

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,497	3.7	656	27.5	789	20.3	576	32.8
29年3月期第1四半期	7,230	6.6	514	19.6	656	12.1	434	58.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 809百万円 (%) 29年3月期第1四半期 424百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	42.46	
29年3月期第1四半期	31.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	41,206	29,788	68.0	2,063.33
29年3月期	40,560	29,318	67.9	2,028.73

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 28,015百万円 29年3月期 27,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		25.00	40.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		15.00		25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	6.1	2,600	6.7	3,200	6.0	2,000	17.8	147.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	13,900,065 株	29年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	322,196 株	29年3月期	322,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	13,577,879 株	29年3月期1Q	13,798,905 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料) P.2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資において力強さに欠けるものの、緩やかな回復が継続しました。世界経済においては、米国は雇用・所得環境の改善を背景に拡大基調を維持し、中国は政府主導の政策需要が景気を支えており、総じて堅調に推移しました。

このような状況下、売上高は為替変動による海外子会社の円貨換算額の減少がありましたが、国内外での積極的な拡販を進めた結果、前年同期比3.7%増の7,497百万円となりました。利益については、拡販に加え業績が低迷していた子会社の好転もあり、営業利益は前年同期比27.5%増の656百万円、経常利益は前年同期比20.3%増の789百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比32.8%増の576百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①日本

主要顧客である自動車関連企業の生産増加に伴い拡販を進めた結果、セグメント売上高は前年同期比3.4%増の4,057百万円となりました。セグメント利益は原材料価格の下落や採算改善、コスト削減努力により、前年同期比124.8%増の265百万円となりました。

②南北アメリカ

アメリカ子会社は概ね横ばいで推移し、メキシコとブラジルの子会社が大きく売上を伸ばした結果、セグメント売上高は前年同期比9.6%増の1,429百万円となりました。メキシコは2014年の工場稼働以来業績が低迷していましたが、積極的な拡販を進め新規顧客を増やした結果、連結利益に貢献できる状況となりました。セグメント利益は売上高の増加に伴い前年同期比30.6%増の158百万円となりました。

③中国

現地通貨ベースでは概ね横ばいで推移したものの、為替変動による円貨換算額の減少等があり、セグメント売上高は前年同期比8.2%減の933百万円となりました。セグメント利益は為替変動の影響の他、人件費及び原材料費の増加により前年同期比56.9%減の63百万円となりました。

④東南アジア／インド

当セグメントに属するタイ、マレーシア、インド、インドネシアのすべての子会社が売上を伸ばした結果、セグメント売上高は前年同期比9.2%増の1,076百万円となりました。セグメント利益はインドの収益改善等により前年同期比30.3%増の157百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、41,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ646百万円増加しました。主な要因として、「現金及び預金」が316百万円減少したものの、「投資有価証券」が490百万円、「有形固定資産」が223百万円、「原材料及び貯蔵品」が137百万円、「商品及び製品」が101百万円増加したことによります。

負債は、11,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加しました。主な要因として、「賞与引当金」が285百万円、「未払法人税等」が157百万円、「未払金」が117百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が492百万円、流動負債の「その他」が200百万円、「繰延税金負債」が83百万円増加したことによります。

純資産は、29,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円増加しました。主な要因として、「利益剰余金」が237百万円、「その他有価証券評価差額金」が199百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,177	7,861
受取手形及び売掛金	6,021	5,996
商品及び製品	1,419	1,521
原材料及び貯蔵品	1,800	1,938
繰延税金資産	198	197
その他	315	369
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	17,913	17,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,867	4,238
機械装置及び運搬具（純額）	1,131	1,119
工具、器具及び備品（純額）	238	227
土地	5,106	5,109
リース資産（純額）	15	13
建設仮勘定	862	737
有形固定資産合計	11,222	11,445
無形固定資産		
投資その他の資産	551	510
投資有価証券	9,736	10,227
保険積立金	578	584
長期預金	338	347
繰延税金資産	2	5
その他	235	244
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	10,872	11,387
固定資産合計	22,646	23,343
資産合計	40,560	41,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,464	3,956
短期借入金	1,703	1,730
リース債務	21	20
未払金	830	712
未払消費税等	48	70
未払法人税等	374	216
賞与引当金	505	220
役員賞与引当金	33	36
その他	862	1,062
流動負債合計	7,843	8,025
固定負債		
長期借入金	660	667
リース債務	81	76
繰延税金負債	667	750
役員退職慰労引当金	151	77
厚生年金基金解散損失引当金	294	294
退職給付に係る負債	1,293	1,280
長期預り保証金	167	168
資産除去債務	16	16
その他	65	59
固定負債合計	3,397	3,392
負債合計	11,241	11,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,046	4,046
利益剰余金	20,544	20,781
自己株式	△426	△426
株主資本合計	28,413	28,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	1,793
為替換算調整勘定	△2,417	△2,390
退職給付に係る調整累計額	△44	△38
その他の包括利益累計額合計	△867	△635
非支配株主持分	1,772	1,772
純資産合計	29,318	29,788
負債純資産合計	40,560	41,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,230	7,497
売上原価	4,908	5,050
売上総利益	2,322	2,447
販売費及び一般管理費	1,807	1,791
営業利益	514	656
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	28	32
持分法による投資利益	192	46
為替差益	—	15
その他	12	19
営業外収益合計	258	142
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	90	—
その他	17	3
営業外費用合計	117	9
経常利益	656	789
税金等調整前四半期純利益	656	789
法人税等	133	159
四半期純利益	522	629
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	434	576

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	522	629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	199
為替換算調整勘定	△501	△221
退職給付に係る調整額	7	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△266	195
その他の包括利益合計	△947	179
四半期包括利益	△424	809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△408	809
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,922	1,304	1,017	986	7,230	—	7,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	222	0	11	7	242	△242	—
計	4,145	1,304	1,029	993	7,472	△242	7,230
セグメント利益	117	121	148	120	508	6	514

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本
南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
中 国 : 中国
東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額6百万円は、未実現損益の消去が9百万円、のれんの償却額が△2百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,057	1,429	933	1,076	7,497	—	7,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	256	2	6	14	279	△279	—
計	4,313	1,432	939	1,091	7,777	△279	7,497
セグメント利益	265	158	63	157	644	11	656

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本
南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
中 国 : 中国
東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額11百万円は、内部損益取引の調整額が14百万円、未実現損益の消去が△0百万円、のれんの償却額が△2百万円であります。